

# そうだ！患者相談室へいこう

自治医科大学附属病院で、地域医療連携・患者支援部に所属し、医療ソーシャルワーカー（MSW）として4年目になります。部内には、私たちの職種だけではなく、看護師、保健師、助産師、移植コーディネーター、事務職員と多くの職種で助け合い、にぎやかに業務を行っています。

私たちの職種を聞くと、MSW？医療ソーシャルワーカー？なじみのない言葉に戸惑う方もいるかもしれませんが、私たちのことを平たく言うと、病院にいる福祉の相談員と思ってもらえばいいと思います。社会福祉士という国家資格を有し、業務に携わっています。あまり、聞きなれない職種だと思いますが、せっかくこのような機会をいただいたので、ちよつと私たちにについて紹介させていただきます。

## 医療ソーシャルワーカーって？

本当は誰もがいつまでも健康でいたいと思っていることでしょう。でも、いつ、どのような病気にかかるか、ケガをするのか分からないのも残念ながら事実です。病気になることで、身体のことばかりでなく、多くの

困ったことに直面することがあります。これまでの自分や家族の生活が一変してしまうこともあります。病気やケガの状態に関係なく、様々な生活上の問題におつかるかもしれません。通院や入院をすると、仕事や学校に行けなくなったり、思うように身体が動かなくなったりと、不安も抱えることになるかもしれません。

一人で抱えてしまわずに、まずは私たちに話してみてください。どうしたら患者（児）さんやそのご家族が安心して日々の生活を送れるか？解決の方法を一緒に考え生活を支援していきます。私たちは、みなさんからの話を聞かせていただくことで、社会福祉の立場から解決の糸口を探し、時にはみなさんと共に闘い、安心できる生活基盤を獲得するために奮闘しています。簡単に解決とはいかないこともあります。一緒に良い方法を考えていきましょう。

## 声をかけてみてください

患者相談室には、よく、「予約していないんですけど…」と来室してくださる方もいます。予約があると助かりますが、診察前後に直接立ち寄って不安や不満を語ってくれる

方も多いので、気軽に声をかけてみてください。気軽にといえば、毎週火曜日と木曜日（祝日を除く）の午前10時～午後4時には、がん情報コーナーを開室していますし、今年度からは毎月第2木曜日（祝日を除く）には、がんとの向き合い方を学んだり、話し合ったりできる場として、がんサロン「虹」を開催しています。どちらも予約は不要なので、利用してみてください。



私の支え、仲間たち



面接の様子

時代の流れによって、様々なことが目まぐるしく変化していきます。そのため、私たちも院内のスタッフはもちろん、行政や医療機関、施設などの各関係機関とも密な連携を図って、常に情報収集し知識を深めべく精進しています。

私たちの一言で方向性が変わってしまう場合もあると考えていますので、専門職として、責任の重い立場にあると気を引き締めています。

当院からの帰り道では、来院前よりも少しは暖かい気持ちになっていただければと思っておりますので、いつでもお越しください。

自治医科大学附属病院  
地域医療連携・患者支援部  
医療ソーシャルワーカー

総合相談室  
つのだ 角田  
けいすけ 圭佑